



やまさき 山崎
じゅんこ 淳子

でるた

人生には四つの「し」があるという。

「師」 出会う人、皆師匠。「志」 一段高い目標。「死」 限りある人生を真剣に生きる。「詩」 人生、仕事に対する夢、ロマンス、ビジョン。

父の会社で働き始めて4年が過ぎた。社内で

出会いから学ぶ

持ちで、お客さま、お取引先、

会社のメンバー

私の上司は社長である父一人。父は私にとって人生の「師」である。幼いころから、「淳子、人と本との出会いは大切にしろよ」と言われてきた。だから、人との出会い、または本を通しての出会いを小さなころから大切にしてきた。今でもその思いは変わらず、強く持ち続けていることの一つだ。今春、わが社の

行動指針を父が策定した。その一つに、「良い本、良い人、良いものに積極的に接せよ」とあるが、まさにこの言葉がそうだ。

4年前から、明治大経営学部で「リーダー」の講義をする機会に恵まれている。「リーダーとは、私心を超え、強い意志で社会にとって意義ある夢を仲間と共有できる人」と学生に話してはいるが、本当は自戒をこめて自分に言い聞かせている。

私の師は父であるが、私の置かれている立場は、直言してくれる人が少ない環境でもある。

「出会う人、皆師匠」という気

と謙虚に向き合っていかなければ、自分が成長できないという危機感をいつも抱いている。

今日の最高は、明日の最低。

父のような高い志、そして、父とはまた違った夢をも紡ぎながら、常に変化し成長し続ける生き方を楽しんでいきたい。

(ヤマサキ常務取締役・マーケティング部長 広島市)